

請求金額の計算について

請求金額の計算方法は医療保険における自己負担割合によって違ってきますので、下記を参考に
して、正しい請求金額を御記入ください。

なお、領収書の『保険点数』を合計し、×10をした額が『医療費総額（10割分）』になります。

◆ **自己負担が1割の場合**（後期高齢者の方など） (円)

医療費総額 (10割分) ①	受診者の支払額 (①の1割) ②	自己負担上限額③	請求金額 ②-③

◆ **自己負担が2割の場合**（高齢受給者証をお持ちの方など） (円)

医療費総額 (10割分) (イ)	受診者の支払額 ((イ)の2割)(ロ)	自己負担上限額 (ハ)	請求金額 (ロ) - (ハ)

◆ **自己負担が3割の場合**

(1) 支払額が自己負担上限額に達している場合 (円)

医療費総額 (10割分) (A)	受診者の支払額 ((A)の3割) (B)	公費負担した 場合の額 ((A)の2割) (C)	自己負担上限額 (D)	請求金額 (B) - (D)

(2) 支払額が自己負担上限額に達していない場合 (円)

医療費総額 (10割分) (A)	受診者の支払額 ((A)の3割) (B)	公費負担した 場合の額 ((A)の2割) (C)	自己負担上限額 (D)	請求金額 (B) - (C)

【請求者欄について】

請 求 者：請求をする方

発行責任者：請求書の発行にあたり責任を有する方

担 当 者：請求手続きの事務を担当する方

※請求者、発行責任者、担当者は同一人物でも構いません。